床下収納ユニット施工説明書　（ふた板１５㎜用）

工　事　店　様　へ

製品を正しく据え付けていただくためにこの説明書をよくお読みください。
施工説明書及び、取扱説明書は紛失や汚れのないよう保管し、工事終了後、必ず
お客様へお渡しください。

必ずお守りください

絵表示について

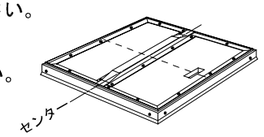
この施工説明書では、製品を正しく据え付けしていただき、お客様への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定されます。

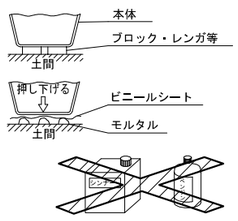
この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ 注意

補強桟は必ずふた板の木目に直角に取り付けてください。
また、ふた板に継ぎ目がある場合には木目の方向に
関係なく継ぎ目に直角に補強桟を取り付けてください。
ふた板の強度が不足しますと、開口部に
転落してけがをするおそれがあります。



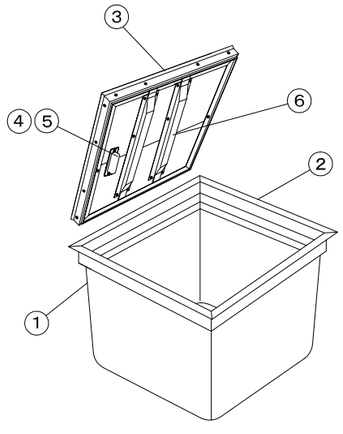
●ブロック、レンガ等で本体底部を受けてください。
収納物の重量で本体が変形するおそれがあります。



●モルタルで受ける場合は、ビニールシートなどを
間に入れてください。

●本体は樹脂製ですので火気の使用や溶剤の使用に
注意してください。

各部の名称



部品番号	部品名称	450ｻｲｽﾞ	450ｻｲｽﾞ補強桟2本
①	本体	1	1
②	アルミ枠（外枠）	1	1
③	アルミ枠（ふた枠）	1	1
④	回転取手	1	1
⑤	取手カバー	1	1
⑥	補強桟	1	2

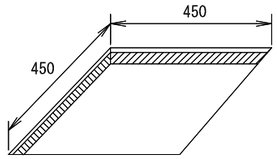
付属部品

	部品名称	450ｻｲｽﾞ	450ｻｲｽﾞ補強桟2本
袋１ 回転取手用	なべ小ねじ Ｍ４×１４	2	2
	スプリングワッシャー	2	2
袋２ 外枠用	皿木ねじ 呼3.8×20	8	8
袋３ ふた枠用	皿小ねじ Ｍ３×５	2	2
	なべタッピングねじ 呼4×12	12	12
袋４ 補強桟用 ※	なべタッピングねじ 呼4×12	8	16

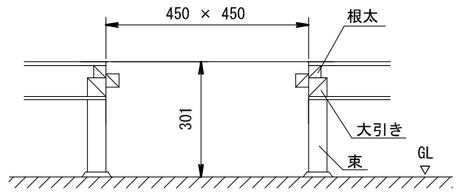
※ 補強桟包装ポリ袋内に同梱されています。

施工方法

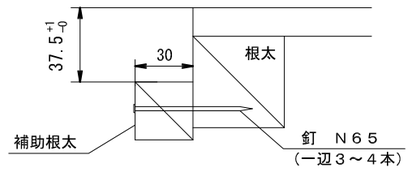
１．床に開口部を設け、開口部のまわりに補助根太を取り付けるための根太を
まわしてください（開口寸法下表参照）。



２．床面から土間までの高さは、３０１㎜以上必要です。
根太は、床面からの荷重に耐えられるよう大引き、束の新設をしてください。

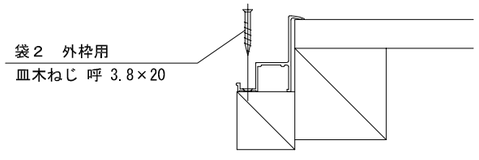


３．補助根太を床面から下図の位置に取り付けてください。



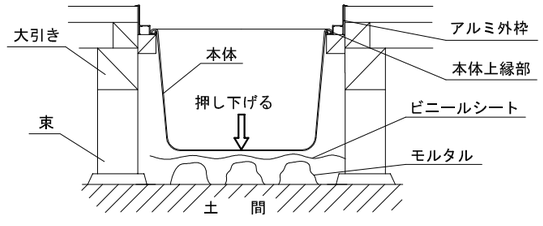
※補助根太は現地で
調達してください。

４．アルミ外枠を開口部にはめ込み、付属部品の外枠用のねじで補助根太に固定します。



５．本体上縁部をアルミ外枠に正しくのせてください。
また本体設置の際はブロック、レンガなどで本体底部を受けてください。
モルタルで受ける場合は、モルタルが底部に密着しないよう
下図のように、ビニールシートなどを間にかませてください。

本体が正しく設置されているか確認してください。
本体に浮きがありますとふたをのせた時、ガタツキが発生します。



本体の設置

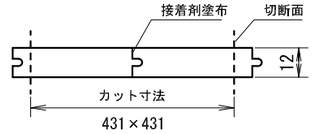
⚠ 注意　本体がアルミ外枠より浮き上がらない様に押し下げてください。

ふたの組み立て

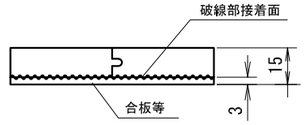
１．ふた板（現場調達）を組み立てます。
ふた板の取り付けは下図のような要領でおこなってください。
ふた板の厚みは１５㎜が必要です。１２㎜の床板の場合は、
３㎜の合板等を接着してください。接着剤は接着面全面に
塗布して充分な強度を保つようにしてください。

ふた板の厚みが不足していると不良の原因となりますので
上記の厚みになるように必ずふた板の厚みを確保してください。

① 板のカット

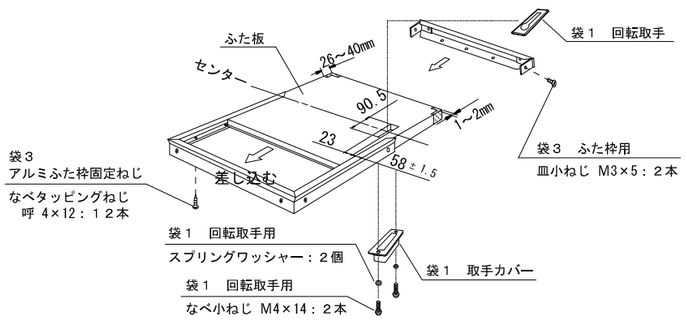


② 合板等の貼り付け



２．次にふた板をアルミ枠に組み立てます。付属部品のふた枠用のねじを
使用して下図の通りにふた枠を組み立ててください。
次に回転取手を取り付けます。下図にしたがってふた板に開口部を
設け、同梱しています取手カバーと付属部品の回転取手用のねじと
ワッシャーを使用して回転取手を取り付けてください。

回転取手は手回しドライバーで固定してください。
電動ドライバーの場合、破損する場合がございます。



※ ふた板が入りにくい場合はふた板の
４角を１～２㎜ほど切り欠いてください。
（上図斜線部参照）

３．補強桟をふた裏面に取り付けます。

ふた板に継ぎ目のある場合には、図のように継ぎ目に対して
直角に補強桟を取り付けてください。